

第1回 大洲市総合計画審議会 議事概要

日時：令和3年5月26日（水）午前10時～

場所：大洲市役所 第一別館3階 第一会議室

（委嘱状交付）

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 大洲市総合計画審議会条例について
5. 会長及び副会長の選出

■会長・副会長の決定

- ・会 長：松村 暢彦（国立大学法人 愛媛大学 社会共創学部 副学部長）
- ・副 会 長：山内 勝之（大洲市自治会連絡会議 大洲地域 会長）

6. 諮問（第2次大洲市総合計画後期基本計画の策定について）

7. 議事

（1）総合計画の概要

（2）後期基本計画の策定方針

■委員質問と事務局回答

- ・委員質問1：この5年間の大洲市の大きなこととして、平成30年7月豪雨災害があります。総合計画には、どのように反映されるのでしょうか。
- ・事務局回答：災害からの復旧・復興については、市の復興計画がありますので、総合計画と復興計画の整合を図りながら検討していきます。

- ・委員質問2：新型コロナウイルス感染症は、総合計画の中で新規項目を設定するのか、それとも既存の項目で表記されるのでしょうか。
- ・事務局回答：基本目標「安心きらめくまちづくり」の中で記載していく等、今後検討していきます。

- ・会長意見：新型コロナウイルス感染症は、医療だけでなく、福祉や教育等にも関係してきますので、事務局にて反映する案の提案をお願いします。

- ・委員質問3：デジタル化の対応が様々な分野のベースになると思います。今後、基本計画に反映させていくことになるのでしょうか。
- ・事務局回答：本年度、大洲市DX推進計画を策定する予定です。総合計画と十分に整合性を図っていきます。

- ・委員質問4：個人、企業、行政として実際に取り組まれている SDGs の具体例はありますか。
- ・会長意見：例えば、今回の総合計画の審議会という場合は、目標17番「パートナーシップで目標達成しよう」の1つの施策に当てはまります。現在取り組まれていることが SDGs の1～17のどのゴールに入るのかを考えることが大切です。
- ・委員質問5：総合計画の中で、大洲市独自、大洲市の意志が感じられる箇所はどこですか。
- ・事務局回答：基本目標ごとに大洲市の状況を踏まえた上で施策を記載しています。基本計画の下には各種事業（行事、イベント等）があり、この事業が特に大洲市の特色が出ているものとなります。
- ・会長意見：肱川が大事だと思っています。肱川の「災い」の側面と「恵」の側面をコントロールしていくことを示していければと思います。

（3）策定推進体制及び策定スケジュール

（4）アンケート調査

■委員質問と事務局回答

- ・委員質問6：市民文化会館の検討に際し、オンライン会議を実施し、高校生から有益なご意見をいただきました。総合計画でも、アンケート調査だけでなく、若い方からの意見を聴く機会などは考えていますか。
- ・事務局回答：中高校生の代表の方たちと、テーマを絞り、対面で意見交換の場を設けることを検討しています。

（5）その他

■事務局より連絡事項

- ・連絡事項1：令和3年4月に新たな過疎法が施行されたことに伴い、新たな過疎市町村計画を策定することとなります。過疎市町村計画の策定にあたっては、市の最上位計画である総合計画との整合を図る必要があること及び、目指す方向性は同じであることから本審議会のご意見等を過疎市町村計画へ反映させていただきます。
- ・連絡事項2：大洲市DX推進計画の進捗は本審議会でご報告させていただきます。

8. 閉会

以上